

第1回 市老連スティックリング大会

スティックリングはカーリングをヒントに平成18年福井で考案されました。冬場でも活動できる室内でのゴルフ型スポーツ。

1チーム3人の団体戦でスティックを使ってパックをポイントに向けて打ち出し得点を競い合うゲームです。



12月2日(水)、第1回市老連スティックリング大会が市民体育館で行われました。

雲浜地区老人会は11月からスティックリング大会に向け、講習会や練習を積み重ね、4チームが参加しました。

大会では惜しくも予選敗退でしたが和気あいあいとプレーを楽しんでいました。室内でできるスポーツなので今後も練習を続け、運動を続けてほしいですね。



サークルが発表会!

11/20(金) お和とうんぴんべっぴんズ



11/21(土) ゆりの会



11月20日(金)「お和とうんぴんべっぴんズ」の皆さんは、例年雲浜地区のサロンなどで活躍していました。

今年はコロナ禍で練習が出来ない日もあり、3密にならないようにと会場を雲浜公民館に変更し披露。民生委員の方や地域のお年寄り約50名が楽しみました。

11月21日(土)は「ゆりの会」の皆さんが発表されました。

クリスマス教室



「たんぽぽ広場」の皆さんにクリスマス飾り作りを教えてください、素敵な額が出来ました。



—昭和28年 台風13号 体験談— No.9

四谷町 大谷久美子氏

昭和28年(1953年)台風13号体験記

(その1)

昭和28年(1953年)台風13号は9月25日(金)15時頃、本州南岸に秋雨前線が停滞していたところへ紀伊半島に上陸。本州を縦断し、翌26日15時頃には北海道根室へと進んだ。南川上流の中名田地区では23日から26日までに705.1mmの降水量を記録した。

25日夜中、生守地区から和久里にかけての南川堤防右岸が決壊した。水は北川、南川の下流に押し寄せ、合流点付近の堤内地の水位が上昇して、ついに北川左岸堤防が決壊するとともに河口部において西岸を洗掘崩壊させるに至った。

小浜市では北川南川の堤防が決壊し死者37人、全壊200戸、半壊147戸、床上浸水2,039戸、床下浸水1,016戸など大きな被害をもたらした。(国土交通省HP,小浜市史より抜粋)

城内地区は一級河川北川と二級河川南川に挟まれた場所にあり、城内地区は一丁目と二丁目に分かれており、当時私が住んでいた二丁目は小浜湾に近い所で通路幅が狭く自動車が入れない場所でした。

近所は14軒で「班」が結成されていたように思われます。

13号台風が接近した時は、その「班」の結束(団結)で「九死に一生を得る」ことが出来ました。

あれから67年の歳月が流れ、お亡くなりになられたり転居されたりして当時の状況を知る人が少なくなっており、僭越乍ら筆を取らせていただいた次第です。

まだ気象関係の情報は量も地域特性も迅速さも乏しく、当時小学校5年生(11歳)だった私は数日前から雨が降り続けていることに気付いていたものの、何の危機感も持たず過ごしていました。

9月25日(金)登校したものの「台風が来るから」との説明で2時間目までで、授業は終了。地域毎にまとまって集団下校となりました。風雨の中、何の不安もなく自宅へ戻りました。

午後になるとますます雨風が強くなり外には出られない状態となった。南側に面した格子戸の窓ガラスは内側に反り返り今にもはずれそうだった。反対の北側は何の障害物もなく直接雨と風を受け凄まじい音を立てていた。私はなす術もなく恐ろしい音を避けるために布団の中に入っていた。一緒にいた母は何を考えていただろうか。

しばらくすると天井のあちこちからポトポトと雨漏れの音が聞こえてきた。すると雨は天井裏を伝い部屋の中に落ちてきた。最初は洗面器で受けていたが追いつかず、手の施しようがない状態に陥ってしまった。

そのころ市内でも緊急事態になっていたと推測されるが、この時でもまだ危険を感じていなかった。



(次号に続く)

自分に合った食事量で健康に!



11月6日(金)食生活改善推進員による「健康に食べよう会」が開催されました。

身長・体重・年齢を調査用紙に記入し、自分に合った食事量を計算し、用意されたメニューから献立を選びました。

実際に試食と思いきや、残念ながら今年はコロナ禍で試食はできませんでしたが、食べ過ぎないように気をつけ、健康管理につなげたいと思います。